

レセプトおよびDPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する研究について

当院では、より質の高い医療・公衆衛生の向上のため、私達が行っている医療の内容を客観的に評価しながら、さらに改善させてゆくことが大事だと考えております。

そこで、当院では研究機関と協力して、お受けになった入院及び外来診療に関するデータを完全に匿名化した状態で収集して客観的に分析し、医療や施設運営の質を一層向上されることをめざしております。

【研究参加と既存情報の提供についての公開情報】

① 試料・情報の利用目的及び利用方法、他の機関への提供方法

循環器疾患診療実態調査（JROAD）の調査施設の中から DPC(Diagnosis Procedure Combination；診断群分類)参加病院を対象に、病名や診療行為の明細が含まれた DPC データを集め、データベースを作成し、得られたデータに基づいて、医療の質を向上するのに必要な情報を循環器学会員へ発信し、循環器診療の質を向上させるための基本的な資料とすることを目的に、暗号化通信による電子的送付あるいは追跡可能な宅配等により、一般社団法人日本循環器学会（共同研究を実施する国立研究開発法人国立循環器病研究センター循環器病統合情報センター）へ提供する。

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

厚生労働により規定され作成されたDPCデータ（性別・入院時年齢、入院時診断名・入院時併存症病名・入院後合併症病名とそれらの ICD-10 コード、手術処置名、実施日、使用された薬剤・医療材料、在院日数、退院時転帰、費用などであり、データは匿名化処理がされています。個人情報提供されることはありません。）

③ 利用する者の範囲

「レセプト及びDPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する研究」を実施する研究者

研究代表者（統括責任）国立循環器病研究センター 安田 聡

その他 DPC 対象病院（日本循環器学会に協力する全国の循環器科または心臓外科を標榜する施設）

④ 試料・情報の管理についての責任者

独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院 医事課長